

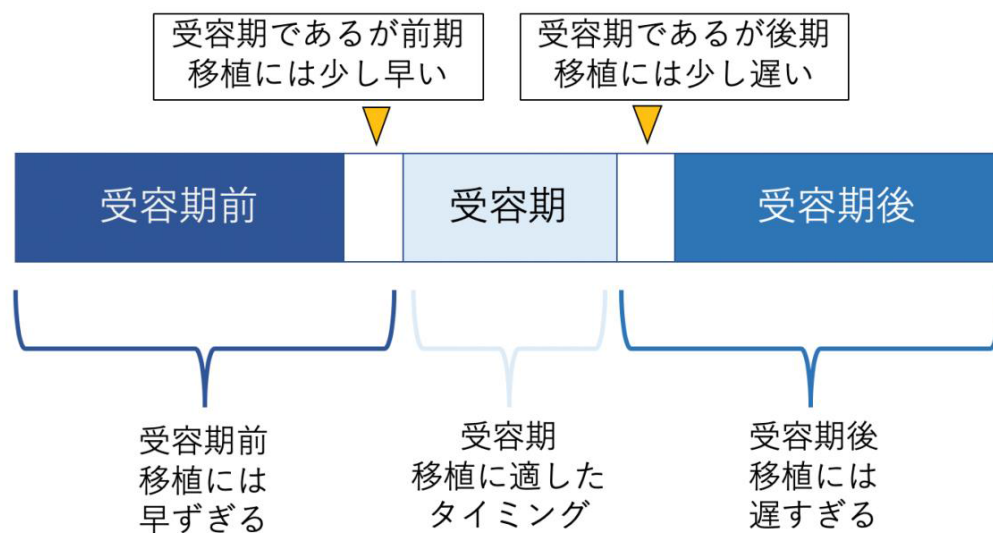
# ERA/EMMA/ALICE(エラ/エマ/アリス)検査について

子宮内が妊娠しやすい環境であるのか調べる検査です。

## ■ERA検査

移植をする際の子宮内膜が妊娠可能な状態であるのかを遺伝子レベルで調べる検査です。

移植をする際に子宮内膜を妊娠可能な状態にしているつもりでも遺伝子レベルでは準備が整っていない場合があります。



※受容期：胚盤胞が着床する期間

次回の移植スケジュール時に移植時間を調整し、最適なタイミングで胚盤胞を移植します。  
受容期のズレが原因で妊娠されない方は、妊娠率の向上が期待できます。

## ■EMMA(子宮内膜マイクロバイーム)検査

子宮内に存在する菌を調べて、現在の子宮内環境が高い妊娠率に繋がるのか調べる検査です。

## ■ALICE検査

妊娠率を高めるために、慢性子宮内膜炎の原因菌を検出する検査です。

従来の検査では検出できなかった菌について検出することが可能となるため、検出された菌に沿った適切な治療を行うことができます。

## ■なぜ子宮内環境を知ることが重要なのか

以前は 子宮内は無菌状態であると言われていましたが、解析技術の急速な進歩により子宮内にも菌が存在していることが分かりました。

さらに、子宮内環境を良好に保つため(妊娠しやすい状態)には善玉菌(乳酸菌)が悪玉菌(悪い働きをする菌)より多いことが重要であることも分かりました。

当院では、融解胚移植を行う際には乳酸菌サプリメントや乳酸菌含有の膣錠を用いて子宮内環境の改善に取り組んでおり、妊娠率の向上に努めています。

## ■ ERA/EMMA/ALICE (エラ/エマ/アリス) 検査の方法

通常と同じ移植スケジュールで子宮内膜を着床可能な状態にします。

これをERAスケジュールとします。

ERAスケジュールでは移植を行わず、子宮内膜の組織を少量採取します。

少量採取した細胞を遺伝子レベルで調べることにより、移植に最適なタイミングや子宮内環境が分かります。1回の細胞採取で3つの検査が可能です。

細胞採取自体は5分程度で麻酔を使用しないので、通常の診察と同様に検査を行った後はすぐに帰宅できます。

検査結果をお伝えできるのは約1ヶ月後になります。

当院では患者様の負担を軽減するためにERA検査の費用はかかりますが、**移植を行わないERAスケジュールの薬剤費や診察料の大部分を当院で負担させていただきます。**